

科 目 名 (Subject)	現代情報システム特論 (英訳) Modern Information Systems		
単 位 数 (Credits)	2単位	(開講時期)	前 期
担当教員名 (Name)	深田 秀実 (英訳) Hidemi Fukada	研究室番号 (Office)	4 2 5
Office Hours	随時 (ただし, 事前に電子メールで来訪を連絡すること.)		

1. 授業目的・方法 (Course objective and method)

本講義では, 社会システム基盤としての情報システムの構築や活用に関する理解を深めることを目的とする. 現代の情報システムを捉えるためには, 人間系, コンピュータ, ネットワークなどの各要素技術とともに, 社会, 組織, ビジネス環境などとの相互作用という観点が重要となる. 本授業では, このような多様な観点から, 情報システムやソフトウェア開発方法のあり方, 現状の課題などを明らかにするための考察を行う.

講義方法は, 文献の精読, 課題としたテーマに関する議論, 受講生が作成してきたレジュメのレビュー等とする.

2. 授業内容 (Course contents)

1 イントロダクション

予課題 次回範囲のレジュメ作成

3. 使用教材(Teaching materials)

- 1) Roger Pressman, Software Engineering: a practitioner's approach, Seventh edition, McGraw Hill, 2010.
- 2) David Avison, Guy Fitzgerald : Information Systems Development: Methodologies, Techniques & Tools, 4th edition, McGraw-Hill, 2006.
- 3) アリスタ・コバーン, アジャイルソフトウェア開発, ピアソン・エデュケーション, 2002.

4. 成績評価の方法(Grading)

評 価 の 要 素	ウェイト
出席率	10%
授業への参加度 (事例, 討論, 調査)	20%
ホームワーク (事前課題の提出)	20%
試験ないしプレゼンテーション (最終課題)	50%

※最終課題は, 毎回作成したレジュメをレポートにまとめたものとする.

5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)

- 秀 (100～90) : 現代における情報システムの構築, 利用, 課題などについて, 秀でた理解力, 実践的知識をもっている.
- 優 (89～80) : 現代における情報システムの構築, 利用, 課題などについて, 優れた理解力, 実践的知識をもっている.
- 良 (79～70) : 現代における情報システムの構築, 利用, 課題などについて, 良い理解力, 実践的知識をもっている.
- 可 (69～60) : 現代における情報システムの構築, 利用, 課題などについて, 理解力, 実践的知識をもっている.
- 不可 (59～0) : 現代における情報システムの構築, 利用, 課題などについて, 理解力, 実践的知識が不十分である.

6. 履修上の注意事項(Remarks)

情報システム構築, ソフトウェアエンジニアリングに関する専門科目を履修済, あるいはソフトウェア開発経験をもっていることが望ましい. なお, 履修する大学院生の知識や経験によって, 受講生との協議・了解のもと, シラバスの内容を変更する場合がある.